

災害に関する情報をSNSで発信・拡散した経験のある人の特性 —情報に関する意思の回答傾向を基に分析—

- 水野 一成 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)
- 近藤 勢津子 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)
- 吉良 文夫 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)

目的

災害情報の取得方法の中で、SNSを最も重視する人の割合は、若年層中心に拡大

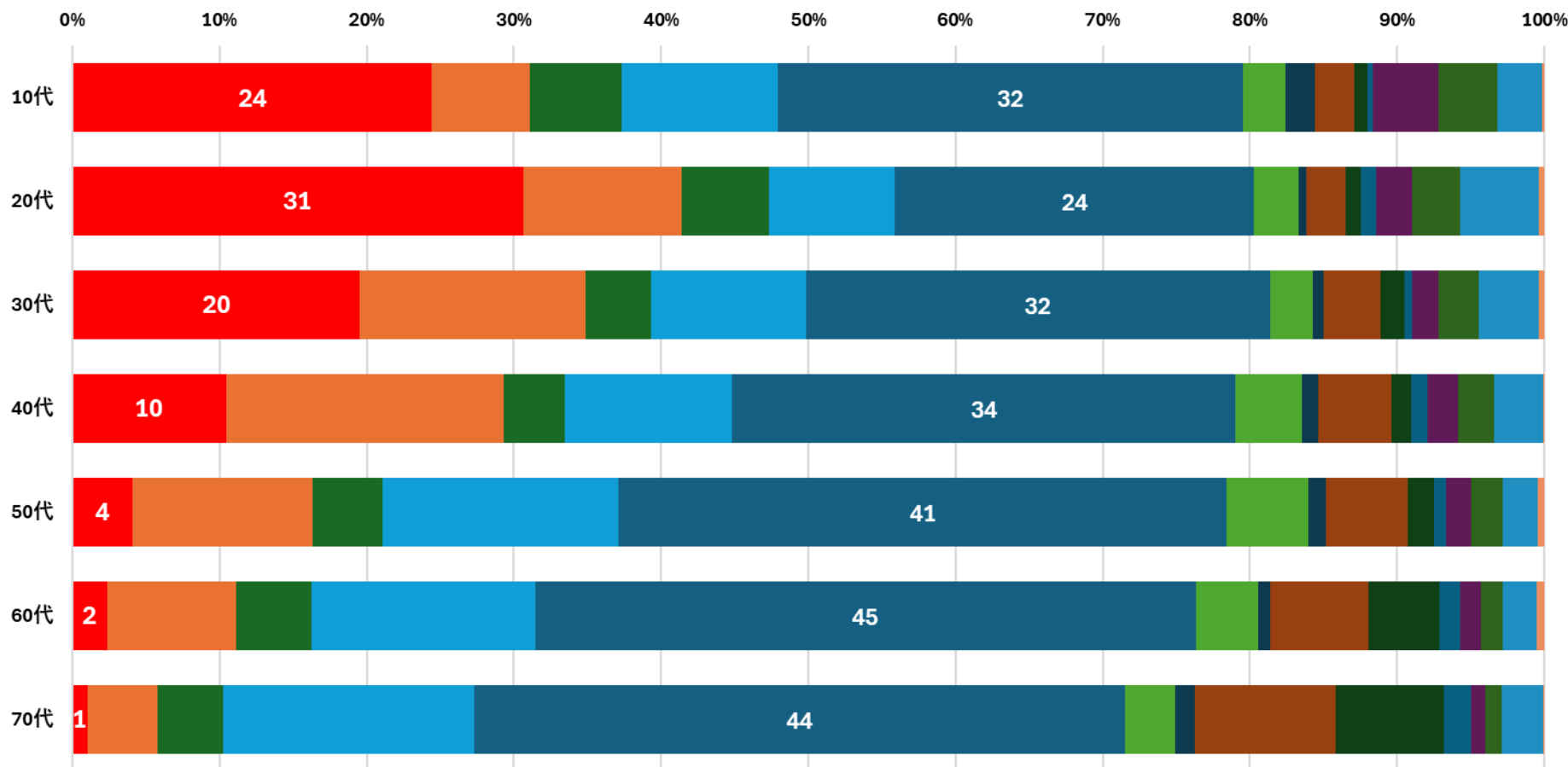
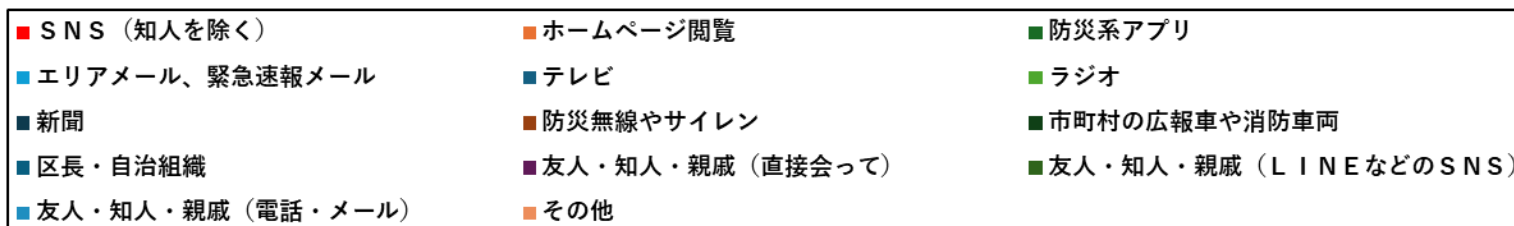


**SNSを利用し災害情報を発信・拡散した経験がある者の特性を明らかにする
情報に関する意思の回答傾向を基に分析**

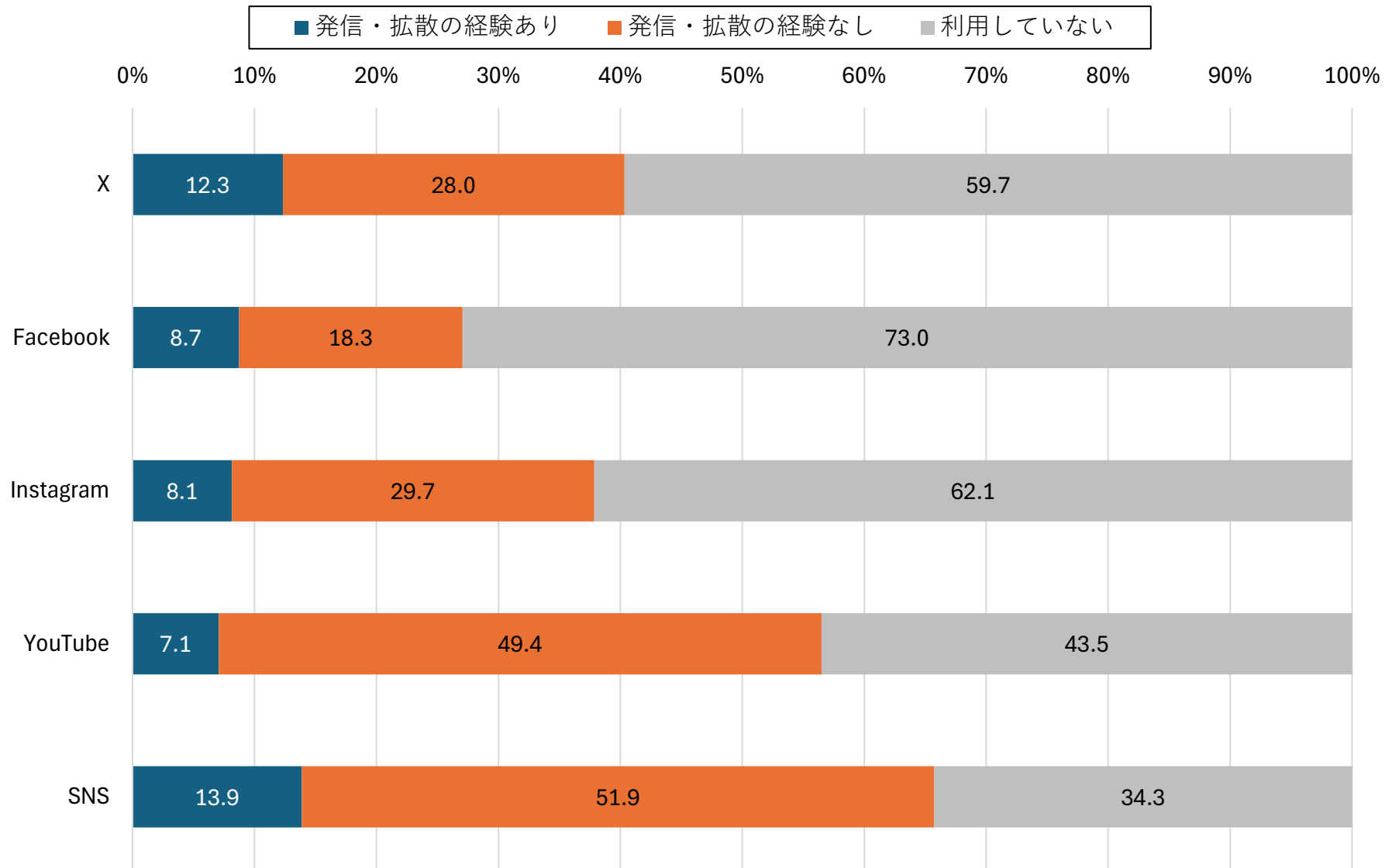
調査概要

調査時期	2024.11
調査方法	Web調査
調査対象	全国 15-79歳
標本抽出方法	QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付
サンプル数	10, 335

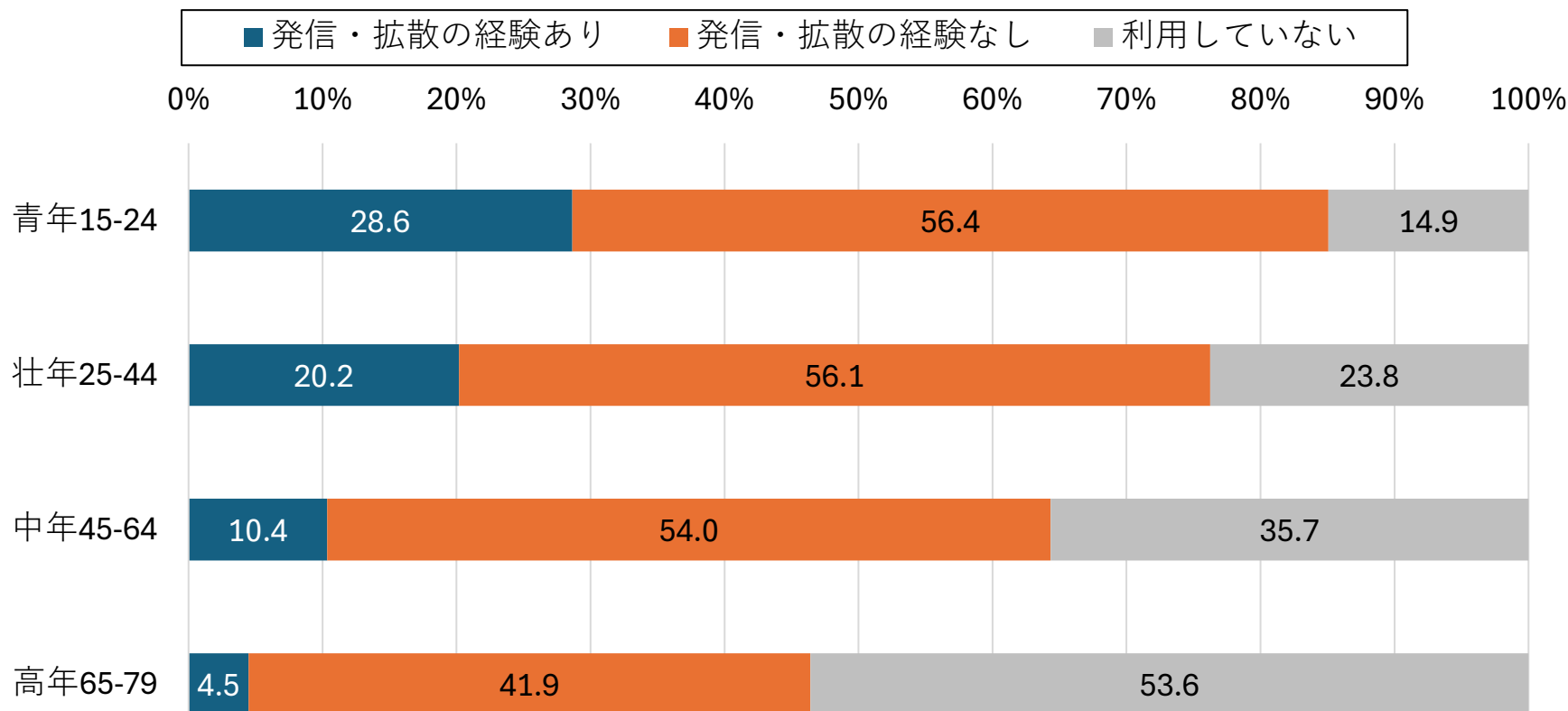
災害情報の取得方法の中で、SNSを最も重視する人の割合は、若年層中心に拡大



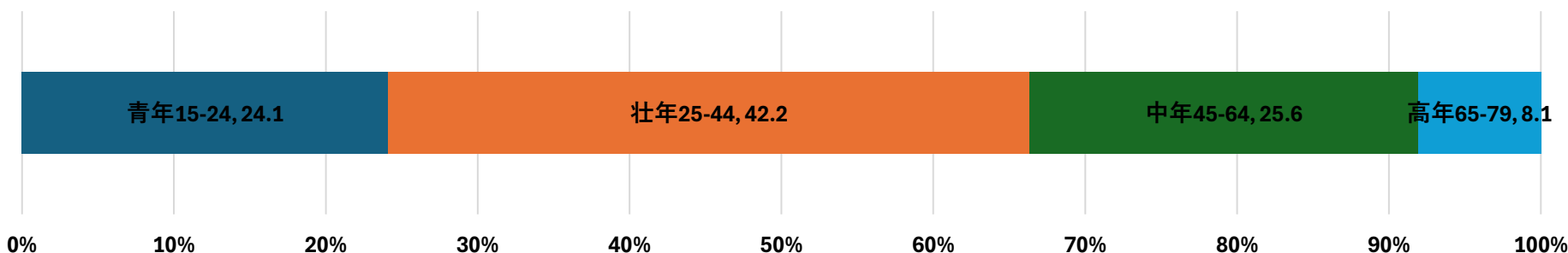
13.9%が災害時にSNSで発信・拡散した経験がある



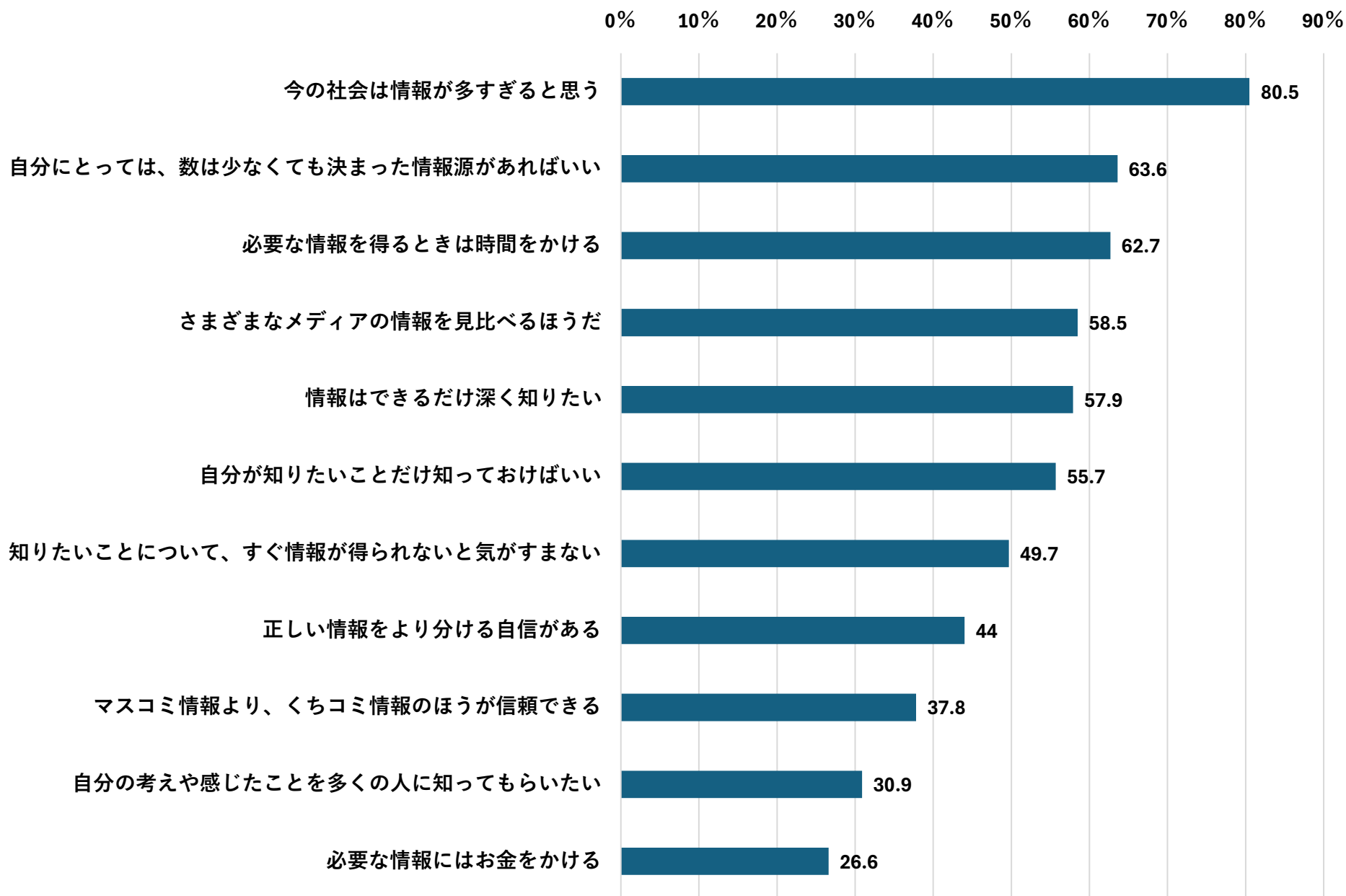
若年層ほどSNSで発信・拡散した経験が多い



全体に占める割合



	そう思う	まあそう 思う	あまりそ う思わな い	思わない
A.今の社会は情報が多すぎると思う	1	2	3	4
B.さまざまなメディアの情報を見比べるほうだ	1	2	3	4
C.自分にとっては、数は少なくとも決まった情報源があればいい	1	2	3	4
D.自分が知りたいことだけ知っておけばいい	1	2	3	4
E.情報はできるだけ深く知りたい	1	2	3	4
F.正しい情報をより分ける自信がある	1	2	3	4
G.知りたいことについて、すぐ情報が得られないと気がすまない	1	2	3	4
H.必要な情報にはお金をかける	1	2	3	4
I. 必要な情報を得るときは時間をかける	1	2	3	4
J.自分の考えや感じたことを多くの人に知ってもらいたい	1	2	3	4
K.マスコミ報より、くちコミ情報のほうが借頼できる	1	2	3	4



	因子		
	探求	承認	限定
Q14_5 情報はできるだけ深く知りたい	0.67	0.15	0.00
Q14_2 さまざまなメディアの情報を見比べるほうだ	0.61	0.16	-0.07
Q14_9 必要な情報を得るときは時間をかける	0.58	0.22	0.07
Q14_7 知りたいことについて、すぐ情報が得られないと気がすまない	0.50	0.29	0.11
Q14_6 正しい情報をより分ける自信がある	0.50	0.29	0.03
Q14_10 自分の考えや感じたことを多くの人に知ってもらいたい	0.23	0.68	0.03
Q14_8 必要な情報にはお金をかける	0.27	0.52	-0.05
Q14_11 マスコミ情報より、くちコミ情報のほうが信頼できる	0.20	0.40	0.20
Q14_4 自分が知りたいことだけ知っておけばいい	-0.04	0.04	0.70
Q14_3 自分にとっては、数は少なくとも決まった情報源があればいい	0.06	0.05	0.66
Cronbach の α 係数	0.75	0.60	0.63

因子抽出法: 主因子法

回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

a 5 回の反復で回転が収束しました。

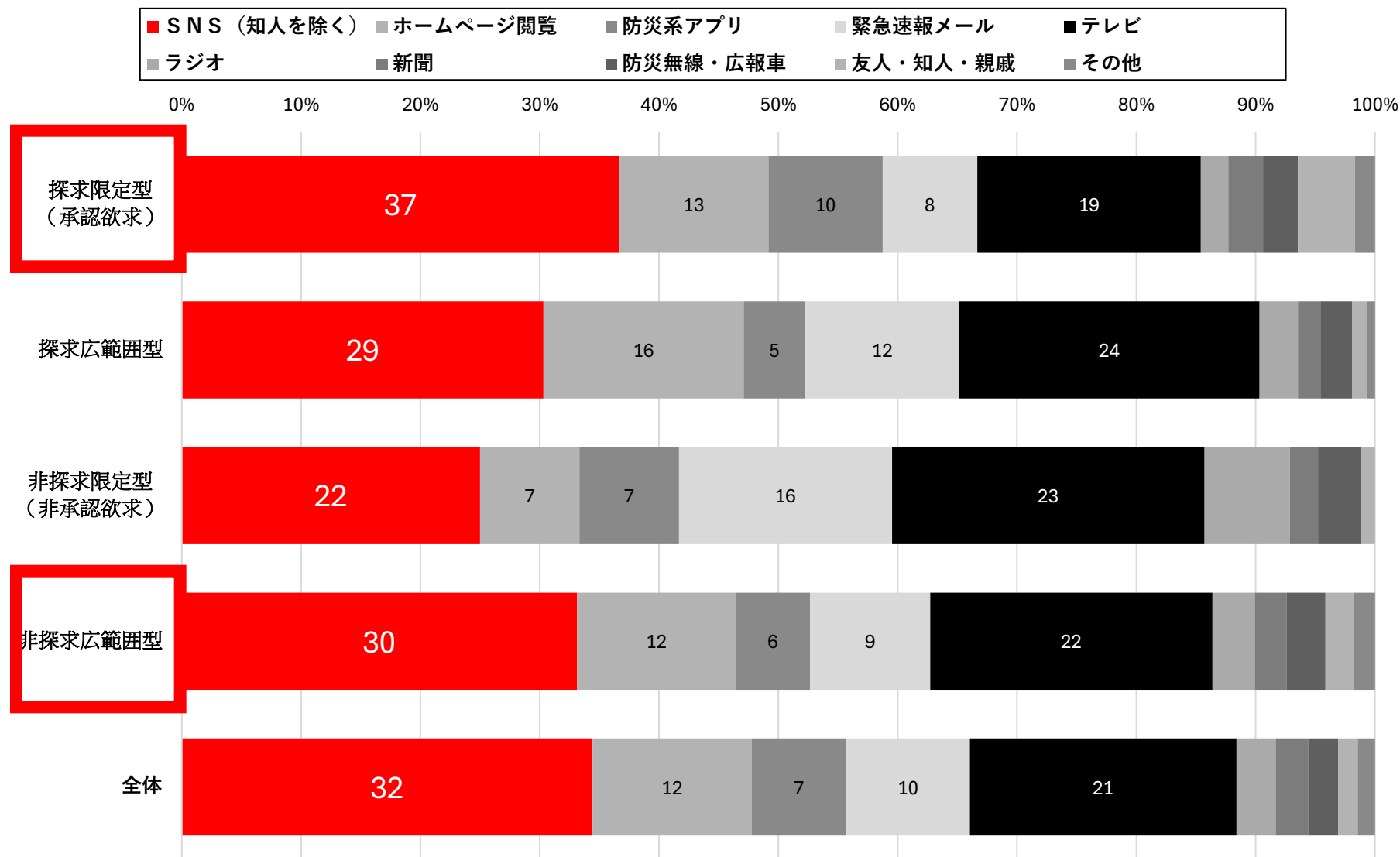
4 クラスタに分ける

		探求限定型 (承認欲求)	探求広範囲型	非探求限定型 (非承認欲求)	非探求広範囲型	全体
因子	探求	0.61	0.70	<i>-0.48</i>	<i>-0.56</i>	
	承認	0.81	-0.22	<i>-0.56</i>	0.11	
	限定	0.58	<i>-0.69</i>	0.60	<i>-0.53</i>	
構成	回答者数(人)	2,275	2,278	2,951	2,851	10,355
	構成比 (%)	22.0	22.0	28.5	27.5	100
年代	青年15-24 (%)	38.3	<i>16.4</i>	<i>16.8</i>	28.5	100.0
	壮年25-44 (%)	27.0	17.9	24.9	30.2	100.0
	中年45-64 (%)	18.0	22.9	31.5	27.6	100.0
	高年65-79 (%)	<i>13.9</i>	28.1	34.1	23.9	100.0
性別	男性比 (%)	50.6	53.2	41.1	52.4	49.0

「探求限定型」「非探求広範囲型」はSNSで災害情報を発信・拡散した経験が多い

	探求限定型（承認 欲求）	探求広範囲型	非探求限定型（非承認 欲求）	非探求広範囲型	全体
青年15-24	34.9	22.6	13.7	32.5	28.6
壮年25-44	33.5	16.7	6.8	21.3	20.2
中年45-64	21.1	7.5	3.5	13.6	10.4
高年65-79	10.6	3.2	2.0	6.0	4.5
全年代	26.7	9.6	4.6	16.7	13.9

「探求限定型」「非探求広範囲型」は極端にSNSを重視している訳ではない



「非探求広範囲型」は「特に目的なし」の割合が多い

	探求限定 型（承認欲求）	探求広範 囲型	非探求限定型 （非承認欲求）	非探求広 範囲型	全体
多くの人に情報を伝えたかった	43.8	47.0	45.6	36.2	42.0
被災された方に情報を伝えたかった	45.5	43.8	29.4	34.7	40.2
自分の気持ちを他人に分かって欲しかった	35.6	23.3	18.4	17.7	26.2
自分をフォローしてくれる人を増やしたかった	18.6	10.0	10.3	17.7	16.2
その他	0.7	1.8	0.7	0.0	0.6
特に目的はない	20.6	23.7	36.0	36.6	27.8

「非探求広範囲型」は「ファクトチェック」の得点が低い（実施していない割合が高い）

	探求限定型 (承認欲求)	探求広範囲型	非探求限定型 (非 承認欲求)	非探求広範囲 型	全体
青年15-24	7.7	6.9	6.3	5.7	6.9
壮年25-44	6.4	7.5	7.8	5.8	7.2
中年45-64	5.5	5.0	4.4	3.9	4.8
高年65-79	5.6	4.9	4.3	4.7	4.9
全年代	6.6	6.2	5.6	5.1	6.1

注) 「他の情報と比較」「情報の発信元の確認」「古い情報ではないかの確認」「一次情報を確かめる」について、その実施頻度を基に得点化（16点満点）

「探求限定型（承認欲求）」は長く、「非探求広範囲型」は短い傾向

		探求限定型 (承認欲求)	探求広範囲 型	非探求限定型 (非承認欲求)	非探求広範囲 型	全体
テレビ	青年15-24	138.2	112.0	92.1	116.6	120.0
	壮年25-44	148.7	132.3	130.4	130.8	135.8
	中年45-64	169.3	167.5	162.7	149.2	161.3
	高年65-79	213.6	236.5	235.0	233.6	232.1
	全年代	162.6	176.4	171.3	157.7	166.8
インターネット	青年15-24	220.2	209.8	132.6	176.5	204.3
	壮年25-44	185.4	197.8	186.5	153.4	178.2
	中年45-64	165.8	161.3	144.6	131.5	148.6
	高年65-79	143.6	155.2	137.1	112.0	137.1
	全年代	180.4	172.2	157.5	139.7	160.8

SNS の発信・拡散には個々の情報に関する意思が関与している

- ・SNSで災害情報を発信・拡散した経験がある人は
「探求限定型（承認欲求）」「非探求広範囲型」が多い
- ・**「非探求広範囲型」**は発信・拡大目的が**「特に理由はない」**、また**ファクトチェックが「少ない」**傾向が見られた。